

回復期リハビリテーション病棟の実績公表

1. 退棟患者数 (令和7年10月～令和7年12月)

- ①回復期リハビリテーション病棟からの退棟数58 名
- ② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数44 名

③回復期リハビリテーションを要する状態の患者内訳		患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、クモ膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装具装着を要する状態	17	38.6%
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管疾患、重度の頸髄損傷及び東部外傷を含む多部位外傷	2	4.5%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後	24	54.5%
3	外科手術又は肺炎治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	0	0.0%
4	大腿骨、骨盤、脊椎股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0	0.0%
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	0	0.0%

2. 実績指数 (令和7年6月～令和7年12月)

- ④ 前月までの6カ月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数112 名
- ⑤ ④のうち、リハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数87 名
- ⑥ ⑤の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を控除したものの総和1872 点
- ⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和48.49
- ⑧ リハビリテーション実績指数(⑥/⑦)38.6 点

※ 当院の回復期リハビリテーション病棟入院料3の基準となる実績指数は「35以上」ですので、当院はこの基準は満たしています。
また、リハビリテーション実績指数は数値が高いほどリハビリの効果が良いことを示しています。